

★ 細胞診検査 ★													
	項目	業務時間	検体の種類と量	採取容器添加物	臨床情報	検査所要時間	生物学的基準範囲	検体採取方法	検体搬送条件	検体受入不可基準	ラベル記載内容	備考	検体保管条件
1	婦人科	8:30～17:06	1) 子宮頸部 子宮断端 膣 外陰部 (20ml) 2) 子宮体部 (スライドグラスに塗抹できる量)	1) 婦人科用固定液バイアル (55%メチルアルコール) 2) 細胞診固定容器10枚用 (95%組織脱水溶液A)	臨床診断、過去の細胞診判定は、細胞診断に影響を与える。	7日以内	NILM 陰性 「細胞診ガイドライン」婦人科・泌尿器 2015年版	1) スーパーテル又は子宮頸管ブラシでサンプルを採取する。婦人科用固定液バイアルに押し当てて10回程度回転し、さらに強くかきまわしたあと、スーパーテル又は子宮頸管ブラシを廃棄し、蓋を閉める。 2) エンドサイトにより採取した細胞をスライドグラスに塗抹し、速やかに細胞診固定容器10枚用に入れる。	対面受受	・固定容器に入れられなかったもの。 ・患者氏名や検体採取部位に関して、依頼書と検体ラベルの記載が一致しないもの	患者名 検体名	-	室温
2	呼吸器	8:30～17:06	1) 喀痰 (1ml) 2) 蓄痰 (2ml) 3) 気管支ブラシ (10ml) 4) 気管支洗浄 (5ml) 5) BAL (10ml) 6) 肺穿刺 (10ml) 7) 擦過スライドグラス (細胞が塗抹された事が肉眼で確認できる程度)	※検体および血液成分等が漏れたり浸み出さないものに入れる ・各種サイズの蓋付き容器 ・袋 7) 細胞診固定容器10枚用 (Pap:95%組織脱水溶液A Giemsa:添加物なし)	臨床診断は、細胞診断に影響を与える。	7日以内	陰性	1) 喀痰容器に採取する。 2) 蓄痰容器に採取する。 3-6) 遠心管50ml、遠心管に10ml採取する。	即時搬送 対面受受	・冷蔵庫に入れず1日以上放置されていたもの。 ・冷蔵庫に入れて4日以上放置されたもの。 ・依頼書に所見の記載がないもの ・患者氏名や検体採取部位に関して、依頼書と検体ラベルの記載が一致しないもの	患者名 検体名	-	冷蔵 2、7)は室温
3	泌尿器	8:30～17:06	1) 自然尿 2) 導尿 3) 腎尿 4) 尿管尿 5) 陰囊穿刺液 2-40ml	外来1) 尿コップ→プレザーブサイト液入り50mlコニカル管 (一般検査室) 2)～5)、入院1) 遠心管10ml (添加物なし)	臨床診断、結石の有無、血尿の有無は、細胞診断に影響を与える。	7日以内	陰性 Class I Class II 「細胞診ガイドライン」婦人科・泌尿器 2015年版	外来1) 尿コップに採取し、一般検査室でプレザーブサイト液入り50mlコニカル管に適量移す。 2)～5)、入院1) 遠心管10mlに採取する。	即時搬送 対面受受 但し、一般検査室でプレザーブサイト液入りコニカル管に分注された検体については、原則16時頃にまとめて中央採血室リフトを用いて提出する。	・冷蔵庫に入れず1日以上放置されていたもの。 ・冷蔵庫に入れて4日以上放置されたもの。 ・患者氏名や検体採取部位に関して、依頼書と検体ラベルの記載が一致しないもの	患者名 検体名	-	冷蔵 ただし、プレザーブサイト液入りコニカル管に入っている検体は室温で可
4	体腔液	8:30～17:06	1) 胸水 2) 腹水 3) 心嚢水 4) 髄液 5) 胸腔内洗浄液 6) 腹腔内洗浄液 4) 以外5ml 4) 1ml	4) 以外 遠心管10ml (添加物なし) 遠心管50ml (添加物なし) 滅菌カップ150ml (添加物なし) 4) 遠心管10ml (添加物なし)	臨床診断、原発腫瘍の情報は、細胞診断に影響を与える。	7日以内	陰性	遠心管10mlに採取する。	即時搬送 対面受受 気送管システム (エアーシューター) 利用の場合、検体容器をビニール袋に入れ、カプセル内にスポンジを入れて検体容器が破損しないよう注意する	冷蔵庫に入れず1日以上放置されていたもの。 冷蔵庫に入れて4日以上放置されたもの。 依頼書に所見の記載がないもの	患者名 検体名	-	冷蔵

5	術中迅速細胞診検査	8:30～17:06	1) 胸水 2) 腹水 3) 胸腔内洗浄液 4) 腹腔内洗浄液 5ml	滅菌カップ150ml (添加物なし) CBC用採血管 (EDTA-2K)	-	1時間以内	陰性	スベシメンカップまたはCBC用採血管に採取する。	即時搬送 対面授受 気送管システム(エアーシューター)利用の場合、検体容器をビニール袋に入れ、カプセル内にスポンジを入れて検体容器が破損しないよう注意する	・冷蔵庫に入れず1日以上放置されていたもの。 ・冷蔵庫に入れて4日以上放置されたもの。 ・依頼書に所見の記載がないもの ・患者氏名や検体採取部位に関して、依頼書と検体ラベルの記載が一致しないもの	患者名 検体名	-	-
6	乳腺	8:30～17:06	1) 乳頭分泌 (スライドグラスに塗抹できる量) 2) 乳腺穿刺 (20ml)	1) 細胞診固定容器10枚用 (95%組織脱水溶液A) 2) 非婦人科用固定液バイアル (55%メチルアルコール)	臨床診断、 のう胞性の情報 の有無は、細胞診 断に影響を与える。	7日以内	陰性	1) スライドグラスを乳頭にあてて分泌物を採取し、速やかに細胞診固定容器10枚用に入れる。 2) 穿刺液を非婦人科用固定液バイアルに流し込む。	対面授受	・即時搬送されなかったもの ・依頼書に所見の記載のないもの ・検体種別が「術中迅速」となっていないもの ・患者氏名や検体採取部位に関して、依頼書と検体ラベルの記載が一致しないもの	患者名 検体名	-	室温
7	消化器	8:30～17:06	1) 胆管ブラシ (20ml) 2) 胆汁 (10ml) 3) 膵管ブラシ (20ml) 4) 膵液 (10ml) 5) 膵穿刺 6) 胃穿刺 7) 消化管穿刺 (30-40ml)	1),3) 非婦人科用固定液バイアル (55%メチルアルコール) 2),4) 遠心管10ml (添加物なし) 5-7) 遠心管50ml (生理食塩水)	臨床診断、 結石の有無、 IPMNの情報 の有無は、細胞診 断に影響を与える。	7日以内	陰性	1),3) ブラシを非婦人科用固定液バイアルの中で十分に洗う。 2),4) 遠心管10mlに採取する。 5-7) 穿刺液をシャーレに入れた生理食塩水に流し込み、あとで遠心管50mlに移し替える。	1),3)以外は即時搬送 対面授受	・固定容器に入れられなかったもの。 ・依頼書に所見の記載がないもの ・患者氏名や検体採取部位に関して、依頼書と検体ラベルの記載が一致しないもの	患者名 検体名	-	1),3)のみ 室温 他は冷蔵
8	耳鼻科	8:30～17:06	1) 甲状腺穿刺 2) 唾液腺穿刺 3) リンパ節穿刺 4) 腫瘍穿刺 5) その他穿刺 (20ml) 6) リンパ節スタンプ 7) 腫瘍スタンプ (スライドグラスに塗抹できる量)	1-5) サイトライト液 遠心チューブ30mL 6-7) 細胞診固定容器10枚用 (95%組織脱水溶液A)	臨床診断、 のう胞性、石灰化の 有無は、細胞診 断に影響を与える。	7日以内	陰性	1-5) サイトライト液 遠心チューブ30mLに流し込む。 6-7) 検体をスライドグラスに押し付け、速やかに細胞診固定容器10枚用に入れる。	6-7)は即時搬送 対面授受	・冷蔵庫に入れず1日以上放置されていたもの。 ・冷蔵庫に入れて4日以上放置されたもの。 ・依頼書に所見の記載がないもの ・患者氏名や検体採取部位に関して、依頼書と検体ラベルの記載が一致しないもの	患者名 検体名	-	室温